

扶桑菅廟最初
防府天満宮

佐加太利とは御鎮座地天神山の古来名
「酒垂山」からとったものです

佐加太利

令和2年
春夏号

105号

目次

1 点描／七夕まつり

2 巻頭言

3 崇敬会だより

〜令和御大礼記念事業報告〜

5・4 防府天満宮創建に関わる

「防府の土師氏」の

ものがたり

東奔西走 特別編

7・6 「敬神崇祖」

〜神社を大切にすゝる企業は発展する〜

8 寄稿 「感謝」

〜歌碑奉納によせて〜

Topics

9 結婚おめでとう

ひたぶる

社務所だより

天神様の冬から春〜日誌抄〜

11・10 新型コロナウイルス感染症鎮静

祈願祭斎行

天神おんな神輿コンテスト結果

12 これからの祭行事案内



時を超えて

宮司 鈴木宏明

今年三月末に米国から大切なお客様をお迎えすることになっていました。その方は「日本は何度も訪問したことはあるけれど満開の桜を見たことがない。この度はその風景を是非堪能したい」と仰っていました。私も彼のお花見をとっても楽しみにしていましたが、残念ながら世界を震撼させたあの新型コロナウイルスのせいで、彼は来日すら叶いませんでした。

世の中の行事のみならず神社の祭り事も形を簡素化したり延期や中止へと追い込まれ、神様に対し申し訳ない気持ちで一杯です。どの時代にあっても自然災害、天変地異また疫病などによる突然の苦難と試練が待ち受けています。常に神様に感謝の気持ちを忘れることなく、人は力を合わせてその事態を克服しなければいけないと思います。そして出来るだけ早く平穏な世の中を取り戻さなくてはなりません。

さて昨年春、六年間十一回に及ぶ松崎天神縁起絵巻研究会の集大成として「松崎天神縁起絵巻シンポジウム」を開催させて頂きました。その中で村岡県知事から「国宝昇格への期待」が述べられ、基調講演では作家の高樹のぶ子さんから「絵巻を中心とした防府の歴史ストーリーをつくり観光に資するべき」との提言を頂きました。

シンポジウムを終えて、これらの提言を如何にすれば具体化できるか、そして「松崎天神縁起絵巻」の価値を有効に広く宣伝できるか、天満宮はもちろんのこと防府市のご協力も頂き鋭意検討しています。

私たちが絵巻を通して「防府の天神様」の理解を深めることがまだまだ必要です。その上で、この地方に関りを持つ清少納言、土師氏、俊乗坊重源上人、大内氏や毛利氏さらには近代の著名人に着目すれば、時代が違えども天神様あつての彼らの存在も見えてきそうです。彼らも必ず絵巻に描かれた「道」を往来したはずで、今のCGの技術を活かし「時を超え松崎天神縁起絵巻の世界に誘う」からくりを考案し、国内外の若い人達に「防府の天神様」の歴史の魅力と絵巻の神秘を伝えたいと考えています。

※本ページの天地に掲載した(重文)松崎天神縁起絵巻は、全六巻計約75メートルにおよびます。本号ではその[]の部分を紹介しています。



崇敬会だより

令和御大礼記念事業報告

天皇陛下御即位を奉祝した令和御大礼記念事業「金箔六角燈籠奉納」「菅公百人一首扁額奉納」「本殿調度品奉納」は、お陰をもちまして滞りなく完遂致しました。

去る五月一日、記念事業奉納報告祭を厳粛に斎行致しました。世情を鑑み残念ながら奉納者の参列は叶いませんでしたが、大神様におかれましてはご安心の事と拝察申し上げます。

会長 福田百合子

研修旅行延期と崇敬会大祭中止

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から標記を決定致しました。何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。一日も早い鎮静化を願っております。

新規会員紹介

令和元年十一月二十五日以降入会の方々です。(敬称略)

特別法人会員

学校法人メイ・ウシヤマ学園

法人会員

協同重機(有) 東京都港区
ベル商事(株) 防府市西仁井

特別会員

松浦正人後援会事務所 防府市千日
中嶋昭次 防府市お茶屋町
久築 修 防府市自由ヶ丘

個人会員

井上恵資 大阪府寝屋川市
石田和恵 光市島田
濱野カヨ子 防府市下右田

※崇敬会入会ご希望の方は、同封の「崇敬会のすめ」をご覧ください。

令和御大礼記念事業 崇敬会会員奉納者御芳名

金箔六角燈籠奉納

一金 志百萬円(二対)

山口市 福田百合子
防府市 大村印刷株式会社
防府市 齊藤段ボール株式会社
澤田建設株式会社
裸坊奉仕会 会長 澤田健規
山陽建設工業株式会社
株式会社 杉本利兵衛本店
株式会社 羽嶋松翠園
東山口信用金庫
松浦正人

本殿調度品奉納

一金 貳拾萬円

防府市 日南住 博

菅公百人一首扁額奉納

一金 貳拾萬円

福岡県 近棟 馨
山口市 山田禎二
防府市 貞平伸幸
橋本清純
光市 原田幹彦

制作日本画家馬場良治

一金 伍拾萬円(一灯)

東京都 武光惠美
広島県 河野好孝 篤子 陽三
福岡県 藤井徳夫
山口市 石田陽大
福岡千明
山田禎二
宇野好一
江村栄治
上山忠男
中村被服株式会社
防府通運株式会社
鈴木宏明

防府市 竹重登美子
山本静治

菅公百人一首扁額奉納

一金 四萬円

神奈川県 山本謙治
広島県 渡邊忠義
山口市 福田百合子
防府市 伊藤精三洋子
青山行雄 榮子
伊藤千紗 千華
海水化学工業株式会社
清水満夫
末永哲子
波多洋子
松井美都子
香西信子

菅公百人一首扁額奉納

一金 貳拾萬円

東京都 山下治
広島県 竹益秀穂
山口市 山口道弘
井上康次
上田忠行
郷田昌利
村上和美
防府市 新井登代秀
兼重正人

菅公百人一首扁額奉納

一金 貳拾萬円

岩国市 時高秋夫
吉松玉枝
吉田昭則
村田敏夫 やす江
村重浩三
宮村悦治
三宅正幸
宮内登代子
光元アキエ
松下文二
町田善三
星野 宏
藤井 浩
藤井 昇
平田敏夫
原 暉代史
濱野カヨ子
中村健治
中村敬三
永崎睦男
田中敬三
田川 稔子
杉峯千恵子
清水タケ子
重枝元次
塩田隆士
佐藤敬四郎
小山昌弘
鯉江良美

菅公百人一首扁額奉納

光市 大下勝義
西島 光
橋本光正
上江洲信子
実近敏江
田中武久
宇部市 小笠原彰一
山陽小野田市 岡田哲夫
下関市 多賀契夫
大島郡 池田和彦
熊毛郡 川本重雄
辰巳保夫

菅公百人一首扁額奉納

周南市 上江洲信子
防府市 新井登代秀
兼重正人

菅公百人一首扁額奉納

防府市 新井登代秀
兼重正人

福田会長(中央)と馬場先生
▼奉告祭を終えて



▼拜殿の六角燈籠と菅公百人一首扁額

防府天満宮創建に関わる

「防府の土師氏」のものがたり 松崎 光太郎

はじめに

古来、日本では人を神と祀る「人神」の習慣はありませんでした。その中でどのようにして日本最初の人神である天神さまが防府の地で誕生し発展したのでしょうか。そこには菅原道真公と同族で、防府に土着した土師氏のプライドが深く関わっていたようです。

土師氏と菅原家

土師氏の祖は防府天満宮の相殿にお祀りする相撲の神様として有名な「野見宿禰」という神様です。野見宿禰はお仕えしていた垂仁天皇の皇后が崩御された時、それまで行われていた殉葬（側近達と一緒に葬る）の風習に代え、土で作った人形（埴輪）を考案し、人の代わりに埋葬しました。そのことに天皇は大変お喜びになり、土を司るという意味の「土師」の名を与えられたのが土師氏のはじまりです。以後、一族は代々葬儀・陵墓等の職を担当しました。

実は菅原家も土師の一族でありました。しかし、道真公より三代前の古人が葬儀・陵墓等の職からの脱却を図り、学問の家柄となることを天皇に進言したところ認められ、新たに生地である菅原の地名から「菅原」という名を頂いたのであります。以来菅原家は従来土師氏とは別に独自の繁栄を遂げ道真公に至ったのであります。

道真公の思し召し

この防府の地に土師氏が来たのは、推古天皇十一年（六〇三）のことです。征新羅大將軍であった久目皇子（聖徳太子の弟君）が九州にてお亡くなりになり、防府の桑山に殯斂（仮埋葬）することになりました。



▲現在の久目皇子の殯斂地（防府市桑山山頂）宮内庁の直轄地。

そこで京より派遣されたのが一族の土師連猪手という人物でした。その後土着し子孫は周防国府の役人などになりましたが、道真公の時代になってもその立場は強固なものは言い難いものでした。

そんな地方の土師氏にとつて同族である右大臣菅原道真公は、左遷の身の上にあつても一族の誉であり国民的ヒーローでありました。しかし、西下の道すがら各地でお迎える人々の気持ちとは裏腹に、道真公は深い失意の中で本州最後の寄港地として防府にお立ち寄りになりました。そして「無実の知らせ」を京の都とはまだ地続きであるここ防府の地で待っていたい、と願われた道真公は『此地未だ帝土を離れず願わくは「居」を此の地に占めん』とお言葉を残されました。実はこのお言葉が防府の土師氏にとつて思わぬ開運のきっかけとなりました。



鎌倉時代の在庁官人の連名署。▶

当時の最大勢力は多々良氏（後に大内氏を輩出）で、大江氏、日置氏が後に続き土師氏は4番目くらいの勢力であった「重文東大寺別院阿弥陀寺所蔵文書正和2年（1313）」

「敬神崇祖」

「神社を大切に
する企業は発展する」
下



学校法人
メイ・ウシヤマ学園

理事長

山中 祥弘

▲ハリウッドプラザの茶室



▲在りし日のメイ牛山

前号では義母メイ牛山（防府市出身）の生い立ちと美容家メイさんの主人である牛山清人と共にお二人が神道と縁の深い「生長の家」に傾倒し、その中で「敬神崇祖」の精神を重んじ、日々の生活は神様と共にあるとお話頂きました。前号④はホームページでご覧いただけます。

以前、私の叔父は高野山真言宗総本山の執行役を勤めておりました。私はその叔父と一緒に高野山の境内にある歴代の藩主のお墓や企業の供養塔をお参りをしていました。その中で叔父から「ここにいる藩主もそうであったように、大企業も亡くなった社員やお得意様を供養する企業は永続して繁栄する」と教わりました。実際に大企業であっても社長が顧客や社員を大切にすることでなく「神仏」を「お祀り」しているところは榮えています。なぜなら経営は数学や科学では説明のできない「人間の英智を超えたもの」によるものが多く、その「英智を超えたもの」を「崇敬する心」が運命に作用するからです。ですから社是を「感謝報恩」「家族主義」や「和」と定め、目に見えない力を尊びそれを信じる優良企業は多いですね。



▲学校の屋上にある水田
都会の風景とも妙にマッチしています。



▲生徒は海外留学生も多く、稲作の体験を通して日本文化も学んでいます。都心部六本木にも雀が来るので網をかけ、刈り取られた稲を守っています。はぜ掛けも本格的です。



▲六本木ヒルズ社屋「ハリウッドビューティプラザ」

あの松下幸之助さんは著書の中で「日本の伝統の精神というものは天皇家の姿の中にあらわれている。それは衆知を重んじる、主座を保つ、和を貴ぶことである。」と記しておられますが、私は松下幸之助さん創業の松下電器産業をはじめ、「長寿企業は二千六百年以上続いている天皇家の伝統精神に経営哲学を見出ししている」と思います。言い換えると、良い経営は「敬神崇祖」を実践している！という事であり、その意味で経営哲学は伊勢神宮そして企業の立地している氏神様にも繋がっていると云えるのではないのでしょうか。

ただ、ハリウッドの学生は留学生もいますので、これを説明するのは大変です。そんな時は「神仏にお願いするだけではダメです。お願いする前に日頃からご両親に感謝の気持ちを表すことが大切です。なぜなら父も母も神様に繋がっています。誰でも十代遡っただけで二十人以上、二十代で二百万人以上の祖先がいらっしゃり、もつともつと遠い祖先が神様なのだから。

山中祥弘プロフィール

学校法人メイ・ウシヤマ学園、ハリウッド大学院大学、ハリウッド美容専門学校 理事長 学長 教授

公益社団法人東京都専修学校各種学校協会会長

全国私立学校審議会連合会運営理事、ビューティビジネス学会理事長、公益社団法人日本理容美容教育センター理事、公益社団法人日本ベトナム協会代表理事、公益社団法人日本健康医療学会理事、公益社団法人日本ホスピタリティ推進協会理事

早稲田大学大学院修了後、日本初の国策ベンチャーキャピタル東京中小企業投資育成株式会社を経てメイ・ウシヤマのハリウッドビューティグループ（化粧品・美容室・美容学校）に入社、現在に至る。夫人のジェニー牛山（山中ジェニー）は同グループの創業者の長女で現在メイ・ウシヤマ学園副理事長、ハリウッド美容専門学校校長、ハリウッド大学院大学教授。創立者の教育理念である「敬神崇祖」の精神を継承し、新学期には全学生は明治神宮へ参拝している。

その誰一人欠けても今日の私達は存在しない」と言うのと納得してくれれます。「だから誕生日は親に祝ってもらう日ではなく、親や祖先のおかげで今日があると感謝する日なんです」と続けます。

私は仏教、儒教そして道教を超越し融合しているのが神道だ、全ての教えに繋がっているのが神道だと理解しています。つまり「万教帰一」です。今後、世界の平和と繁栄の為に経営を通して国際的に通用する素晴らしい日本の伝統の精神「敬神崇祖」を持った美容家・経営者「美の天使」をどう育てていくかが我々の使命だと考えています。

学校の屋上の水田で育ったモチ米の藁を防府天満宮様でしめ縄にいただき、学校でお祀りし、「敬神崇祖」の精神を大切にして教育活動しております。

私達は、これからもメイ牛山の生誕の地のご縁としてだけでなく、学問芸術の神様である菅原道真公をお祀りする防府天満宮のご縁を大切にしていまいます。（未完）



▲奉製された注連縄は、毎年年末に役員室入口に掛け替えられています。(写真右より山中理事長、宮司、宮司夫人、ジェニー牛山理事長夫人)



▲脱穀された藁は防府天満宮に送られ、同宮青年部若梅会によって注連縄に奉製されます。



▲生徒達と田植え・稲刈り・脱穀を行い、そのもち米でお正月の鏡餅をつくり神棚にお供えされます。(当日は雨天につき室内にて脱穀作業が行われました)



▲左側奥より 鈴木淳 悠木圭子 羽嶋秀一（防府観光コンベンション協会会長） 鈴木宮司夫妻
右側奥より 八代亜紀 高村正大（衆議院議員） 弘中勝久（県副知事※当時） 藤生通陽（県議会副議長） 池田豊（防府市長）



▲集まった人々へ感謝の言葉を述べる鈴木淳

感謝の歌碑奉納によせて

今年の二月二日、防府天満宮の境内に、八代亜紀が歌った『なみだ恋』の歌碑を奉納させていただきました。この歌の作詞は妻の悠木圭子で、歌った八代亜紀にとっては最初の出世作です。

私は父と兄が宮司をやっていた関係で、子供の頃からずっと神社の廻りを遊び場にしていました。この度の後世に残る立派な歌碑が天満宮の中に設立されたことは、誠に感慨深く感謝しています。

八代亜紀と私たちは社殿でお祓いを受けた後、折しも牛替神事で賑わう境内をステージへと向かいました。移動中、防府市内だけではなく遠く広島県からもお祝いに駆けつけてくれた多くの皆さん（約二、五〇〇人！）の顔を見ることができ、そして沢山の「淳先生、おかえりなさい」の声掛けを本当に嬉しく思いました。更に、亜紀ちゃんも「鈴木先生と悠木先生は歌謡界のお父さんとお母さん。防府は先生の生まれた所なので、今日は実家に帰って来たような感じ」

と挨拶してくれ晴れがましい気持ちになりました。

無事除幕を終え、八代亜紀が『なみだ恋』の歌唱を始めると雲間から太陽が顔を覗かせ、歌碑奉納を天神さまが喜んで下さった（故郷に恩返しできた）ように思え感動を覚えました。また同時に「齢八十六歳、まだまだ故郷のために頑張らないといかんなあ」と気持ち新たにしました次第です。

この度は大変お忙しい中、式典に関わって頂いた皆様、また、私たちの活動にいつも心を寄せて下さる全ての皆様に心からの感謝を申し上げます。

最後になりましたが、防府天満宮の益々の御隆昌と、氏子崇敬者をはじめ防府市民の皆様のご健康ご多幸を衷心よりお祈り申し上げます。

一日も早いコロナウィルスの

鎮静化を願いつつ自宅にて

作曲家 鈴木 淳



▲集まった聴衆には1万個の餅がふるまわれました



▲目を細めて聴き入る鈴木淳と悠木圭子と終始微笑みながら「この歌のおかげで今がある」と述べ優しく歌い上げる八代亜紀

▶流石の注目度！定員2倍以上の応募があり抽選で県内外から会場一杯の約300名が拝聴(於参集殿)



今話題の新国立競技場を設計された世界的建築家隈研吾氏が防府商工会議所の招きで「防府のまちづくり」について講演されました。その中で隈氏は「まち歩きをしたが、防府には埋もれている宝が沢山ある。それを一つひとつ磨けば良いまちになる。その時、防府天満宮を中心としたまちづくりが大切だ」と語られエールを頂きました。



◀まち歩き後、参拝された隈氏と防府商工会議所喜多村会頭(隈氏右等)



▶講演会前に隈氏に門前町の現状について説明する宮司

表参道整備事業

今春当宮が表参道整備事業の一環としてアポニーコーポレーション(株)代表松村憲吾氏の後ろ盾となり、昔防府で栄えた鑄造業の歴史と技等を伝える「長州鑄物記念館」がオープン致しました。力を合わせ埋もれている宝を一つひとつ磨き防府のまちづくりと観光の一助になればと思っております。乞うご期待！



▲館長の松村憲吾氏



▲記念館の展示品(一部)。ビアカップやタンブラーなどの販売も行っている

ご結婚おめでとう

お二人の末永い幸せをお祈り致します

令和二年一月(令和二年五月)
(神社奉式 敬称略)

4月11日 國弘 勇一郎・葉月

2月16日 小口 健史・尚子

19日 多和田 洋祐・美緒

22日 中崎 陽介・恵

24日 藏重 遼・麻美

前田 哲志・菜穂

26日 木村 裕也・早紀

23日 立野 良和・陽子

3月1日 柳 雄哉・理英

4日 川本 陽介・華織

20日 只信 敦弘・史恵

藤田 祥・幸

28日 木原 良征・美幸



※神前結婚式のお申込みは随時受け付けておりますので、社務所へお問い合わせ下さい。(TEL0835-23-7700)

ひたぶる

権禰宜 田中利明

今年度は新型コロナウイルスの蔓延により世界中で人的・経済的にも甚大な被害が出ている。このような事態であるからこそ、神社の存在の必要性を日増しに強く感じている。

今まさに国難を乗り切るために国民が同じ方向を向く時である。皆が同じ祈りを持つということは同じ方向を向くその方法の一つではなからうか。

当宮では毎朝、新型コロナウイルス感染症流行鎮静祈願祭を斎行している。古来より我が国で疫病が蔓延する時代には疫病除けの社が建立されその禍を克服してきた歴史がある。

時節柄、直接神社へお参りする事が叶わなくともその祈りの先に神社があること、昔から日本人には神社という心の拠り所があることを今こそ多くの日本人に思い出してほしい。人々の祈りを受けてこそ神様のご神威は益々発揚されるのだから。

我々が神様に手を合わせ祈ることには意味がある。各々が家族や生活、仕事のことを思い、日常生活の安定化を願うことは引いては国の平常化や平和への願いに繋がる。

この疫病により犠牲になられた方々へ追悼の意を表すとともに、一刻も早い事態の鎮静化、国の平常化を願い、御神前に仕える者の使命として日々祈り続ける。

社務所だより

節分祭

の豆撒き特別ゲストとして本年は、作曲家鈴木淳・作詞家悠木圭子両先生（防府出身）と愛弟子の歌手A D O（アド）の三名が歳男歳女と共にご奉仕頂きました。



▲写真右より袴姿の鈴木淳、悠木圭子、A D O

梅まつり

を斎行。花は例年より二週間も早く咲き始めましたが、期間中に無く事満開を迎え、境内を美しく彩り大勢の参拝者の目を楽ませてくれました。



日誌抄

（令和二年一月～五月）

毎月1日、15日、25日は月次祭

毎1日は朔日詣り（朝粥会）、毎月25日は天神市（縁日）月次茶会

*新型コロナウイルス感染症拡大防止の為※中止・※延期・※影響関連事項

1月1日 歳旦祭、キャッシュレス導入

1～3日 書き初め会、梅茶接待

1～8日 天神おんな神輿写真展

5日 新始式

7日 七草粥の会

8日 梅開花宣言

8～10日 受験合格祈願大絵馬設置（山口宇部空港・岩国錦帯橋空港・鳥取空港・米子空港）

11日 貞宮遙拝式

13日 弓始式

19日 牛替神事奉仕抽籤児童説明会

25日 月次茶会表流山本百次会ご奉仕、新年役員会

26日 総代就任奉告祭

26日 牛かえ神報新聞折込

2月2日 作曲家鈴木淳「なみだ恋」歌碑奉納奉告祭

並び除幕式・鈴木淳様、悠木圭子様、八代亜紀様来宮

2～3日 節分祭並びに第一〇九回牛替神事

3日 歳男歳女豆まき奉仕特別ゲスト鈴木淳様、悠木圭子様、A D O様

4～10日 牛替神事福運者当籤番号券景品引換

9日 第44回防府お針祭

10日 牛替神事当籤者神牛引き渡し

11日 形元祭、出世梅奉製作業総代31名奉仕、人形感謝祭人形受付開始（2月28日迄）

12～13日 ※崇敬会研修旅行

2月16日～3月3日 第十五回梅まつり（期間中土日開催）

歌神婦人会甘酒接待、出世梅無料配布、山縣酒造梅酒試飲会）期間中梅まつり限定朱印頒布

16日 梅まつり始祭稚児舞紅わらべ奉納

17日～3月4日 全国陶器市

20日～3月4日 尾中哲夫月刊ゴルフダイジェスト原画展

21日～23日 脇本順子・間鍋竹土作陶展、手作りア

クセサリー（O.T.E.）アナタニハナヲ、山城屋茶舗京の陶磁器展、平井佳世

21日～25日 布小もの作品展

23日 梅花祭稚児舞奉納、梅まつり茶会表流山本

百次会ご奉仕、中山歌翠社中琴演奏会、天

神芸術村開催

23～24日 池坊防府支部奉納生花展

※3月1日文化講演会・梅酒試飲会・甘酒

接待

天神様の冬から春

天神様から「幸せます」

※幸せますは山口の方言で「ありがたい」とか「嬉しく思う」との意味があります。

「ご奉納ありがとうございました。」

1月25日 唐白（台唐）一台 吉武龍生様

2月2日 「なみだ恋」歌碑一基 鈴木淳様

3月5日 桜苗木三十本 安場幸子様

3月10日 梅木 岡村辰彦様

3月11日 錦鯉二十三匹 中島美代子様

4月11日 錦鯉六十匹 全日本愛隣会山口支部様

5月2日 「夢想」石碑説明板 山本孝夫様

4月15日 マスク三十枚 渡邊元満様

4月20日 マスク六十枚 石井三郎様

4月28日 マスク五十枚 国廣ななみ様

5月12日 マスク百枚 横綱白鵬関

境内清掃奉仕 「ご奉仕ありがとうございました。」

3月26日 高川学園サッカー部様

4月5日 高川学園サッカー部様

4月11日 マツダ（株）防府工場様

総代就任のご紹介

（敬称略）

深野剛史 一月二十六日付

浜田紘海 一月二十六日付

光永 治 一月二十六日付

大橋克俊 一月二十六日付

大浜悟史 一月二十六日付

権禰宜

高橋正成

（防府市出身）

本幸府天満宮より転任

巫女

古谷紀梨子

（山口市出身）

（四月一日付）

鎮静祈願祭斎行

新型コロナウイルス感染症

鎮静祈願祭斎行

花回廊

の今年テーマは「防府希望のともしび」。新型コロナウイルスに立ち向かい世の中を照らす希望の光という願いが込められました。展示した花の写真や動画を積極的に発信しSNS上でも多くの方にご覧頂きました。



▲防府市公式キャラクター「ぶっちゃん(左)」とセルビア女子バレーボールチームホストタウン応援マスコットキャラクター「セルビーちゃん」

天神山

の西側の森林公園が令和元年度山口県の「やまぐち森林づくり事業」により市民の憩いの場として生まれ変わりました。雑木等を伐採し紅葉が植林されましたので、参拝の折には非散策してみてもいかがでしょうか。



▲当宮梅の小径より森林公園に続く遊歩道

17日	防府商工会議所創立80周年記念限研吾氏講演会(於参集殿)
3月1日	人形感謝祭、防府天満宮英語パンフレット頒布開始
1~5日	※1日お朔日詣り朝粥会は当面の間人形里親探し
8日	役員会
5日	茶会祭※華月会茶会、原田英代コンサート(於参集殿)
10日~5月31日	合格御礼奉告祭
16日	※新型コロナウイルス感染症拡大鎮静祈願祭の毎朝斎行開始
20日	春季祖霊大祭※直会
20日	桜開花宣言
25日	春祭※総代会※月次茶会・菊花会総会
28日	梅っ子練習
30日	※東京オリンピックの延期が決定
31日	御神忌一八八八御正祭※直会
4月1日	新入学児童勸学大祭※稚児舞奉納・朝粥会
7日	※七都府県新型コロナウイルス感染症非常事態宣言発令
8日	※非常事態につき歴史館閉館、手水舎納約撤去、社頭マスク着用義務等ウイルス感染対策を講じる
11日	※職員体温検査並びに職員二班編成による奉仕体制開始
12日	全日本愛隣会山口支部錦鯉奉納式
14日	酒垂神社例祭
15日	千年のまちはうふ幸せますウイーク2020
15日	「第8回防府天満宮大石段花回廊」約800鉢設置、※防府市初の新型コロナウイルス感染者発表、※オリンピック聖火リレー到着セレブレーション※応援団長任命式(大石段前)
16日	臨時役員会(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う祭行事について)※御誕辰祭大花火大会 ※茶室閉館、敬神婦人会は当面の間活動自粛を決定
19日	※全国に新型コロナウイルス感染症非常事態宣言発令
25日	※大小行司同族会評議員会
26日	※天神市・月次茶会
29日	※毛利家春祭
29日	※幸せますフェスタ連合渡御天神おんな神輿説明会
5月1日	※「春の幸せますフェスタ2020」第6回おんなみこし連合渡御
1日~5日	お朔日詣り※朝粥会、御大札記念事業奉納奉告祭
6日	※崇敬会大祭並び崇敬会総会
6日	※千年のまちはうふ幸せますウイーク2020「お茶と灯りのコンサート」(於茶室芳松庵)
15日	花回廊プランター販売
15日	神仏合同金鮎祭※直会・金鮎祭奉祝茶会
19日	※敬神婦人会総会
24日	防長海軍慰霊祭※奉納剣道大会
25日	会計監査※月次茶会※神道家まほろば会研修旅行

新型コロナウイルスは世界で猛威を振るい日本でも前代未聞の事態を引き起こしました。当宮では一日も早い終息を毎日祈っています。又「防府市の象徴である天満宮が門を閉めるわけにはいかない」との意志のもと境内において参拝者が感染しないように注意を喚起。また職員を二班編成としお互いが濃厚接触者とならないように対処しています。



第32回(令和元年12月22日) 天神おんな神輿写真コンテスト

今回より新たに山口県知事賞、山口県議会議長賞、防府天神祭振興会会長賞が新設されました



●防府天満宮賞
「天神様に参りましょ」
光市 関谷 芳治

- 山口県知事賞
「賑わう商店街」
下関市 黒木 丸生
- 山口県議会議長賞
「真剣に」
周南市 福屋 重臣
- 防府市長賞
「快晴なり 天神女神輿」
下松市 原 浩二
- 防府商工会議所会頭賞
「みんなの笑顔」
防府市 久光 美保子
- 防府観光コンベンション協会会長賞
「皆、こつち向いて」
宇部市 秦 保博
- 防府天神祭振興会会長賞
「天神おんな神輿」
周南市 米田 満男
- その他入選作品 三〇点
応募総数 二二八八点 (敬称略)

6月30日(火)

十四時〜御田植祭並びに 輪くぐり神事 十六時〜夏越大祓

※御田植祭終了後、苗はご自身で引き抜いてお持ち帰り頂いておりましたが、今年は職員による手渡しとさせていただきます。また、輪くぐり神事・夏越大祓も例年通り斎行致しますが、密集を避け間隔をあけて頂きますようご協力お願い申し上げます。



▲輪くぐり神事
※同封の案内状をご覧ください
ご参加ください。

7月1日(水)〜7日(火)

七夕まつり

祭事予定 ※付帯する行事はすべて中止

七月一日〜七日 回廊内笹飾り、光の斎庭(傘玉のみ)

七夕 七夕祈願祭 祈願料二、〇〇〇円

コロナウイルス鎮静を祈り

「国家安泰祈願祭」を斎行

※同封の短冊にお願い事を書いてご奉納ください。
神職、巫女が竹笹に結び願いが叶うよう祈念します。



▲昨年の傘玉

8月3日(月)〜5日(水)

御誕辰祭

御祭神「菅原道真公」のお誕生日をお祝いするお祭り

祭事行事予定 ※花火大会中止

八月三日〜五日 万灯の夕べ、文芸ボンボリ点灯

三日 万灯祭(予定)

四日 豊穰祈願祭

五日 御誕辰祭当日祭

※本年、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、付帯行事についても誠に残念ではありますが中止とさせていただきます。

御誕辰祭 文芸ボンボリ 奉納のお願い

ご奉納頂ける方には要項と用紙をお送り致しますので、社務所にお問い合わせ下さい。申込用紙に必要事項をご記入の上、ご郵送でご返信願います。



▲文芸ボンボリ

令和2年 夏・秋 これからの祭事行事

10月11日(日) 10月第2日曜日

花神子社参式

大行司・小行司役が御神幸祭の無事斎行を祈る
大行司・小行司役が醸した一夜御酒を花神子が奉獻する社参の式であり、約五〇〇名にも及ぶ優美な時代行列が本陣から社殿まで肅々と進みます。



11月28日(土) 11月第4土曜日

御神幸祭(裸坊祭)

29日(日)

報賽祭(天神おんな神輿奉納)



▲土曜日の男祭



▲日曜日の女祭

12月8・9・15・16日

大祓詞浄書会(四回開催予定)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、祭事に付帯する行事は変更・延期・中止する場合がございます。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



このたびは防府天満宮のホームページをリニューアルいたしました。今後も神社の情報や季節の風景を各SNSと併せて発信して参りますので、ご覧いただけると幸いです。



さかたり第105号
令和2年6月1日発行

発行所 防府天満宮社務所

〒747-0029山口県防府市松崎町14-1
TEL 0835-23-7700 FAX 0835-25-0001

防府天満宮

検索

facebook

twitter

Instagram